

2024 年度研修コース案内

1. 概要

研修コース名	スキルアップ研修（利用者教育コース）
期間（回数）	全 5 回
曜日・時間	オンライン形式・月 1 回 土曜日午後 4 時間程度（途中休憩を挟む） 【第 1 回】 6 月 1 日（土） 13 時 00 分～17 時 00 分 【第 2 回】 7 月 【第 3 回】 8 月 【第 4 回】 9 月 【第 5 回】 10 月
募集定員	12 名（最少催行人数 5 名） ※利用者教育コースについては募集定員が少ないため、定員を超える場合、1 大学 1 名とさせていただきます。同じ大学で 2 名以上が申し込む場合、申込フォームの氏名欄に優先順位を追記してください。
担当者	豊田 哲也（株式会社日本能率協会マネジメントセンター・大学図書館支援機構・元立命館大学図書館）

2. 詳細

目的	<p>本講座は以下の 4 点を目的として開催いたします。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 大学図書館における「利用者教育のあるべき姿」について、改めて考える(2) 講師および参加者同士による大学図書館の利用者教育の事例紹介を通じて、それぞれの取り組みの良い点を学ぶとともに、(1) で再定義した「あるべき姿」と「現状」のギャップを分析し、自大学図書館の利用者教育の問題と課題を捉える(3) 自大学図書館の利用者教育の課題解決に向けて必要な知識（学習理論、インストラクショナルデザインの基礎）を学ぶ(4) 研修での学びを自大学図書館の利用者教育でどのように活かしていくかのアクションプランを立てる(5) (4) で作成したアクションプランに基づき改善した自大学の利用者教育の一部を研修内で実践し、講師および参加者同士でフィードバックすることで得た気づきを踏まえ、研修後の職場実践に活かす
内容	<p>本講座は、①講師による講義、事例紹介、②個人ワーク、③参加者同士のグループディスカッション、④全体共有、⑤総括という 5 つのセッションで組み立てます。</p> <p>また、本講座で中心に取り扱う利用者教育は「新入生対象に各学部の授業で行う図書館リテラシー」や「図書館が独自で開催する図書館ガイダンス」を想定しています。</p> <p>各回の詳細は以下の通りです。</p> <p>1 回目：大学図書館における「利用者教育のあるべき姿」を考える 事前課題：大学図書館における利用者教育に関する論文を読む (1) 参加者自己紹介、本講座の狙いの説明</p>

- (2) 事前課題の解説
- (3) 講師による大学図書館の利用者教育のあり方の問題提起
- (4) グループディスカッション
 - (2)、(3)に対する感想交流と大学図書館における「利用者教育のあるべき姿」についての意見交換
- (5) 全体共有
- (6) 1回目のまとめと2回目の進め方の確認

2回目：参加者の大学図書館における利用者教育の現状から学ぶ

- (1) 1回目の振り返りと2回目の目的説明
- (2) 参加者同士による自大学図書館の利用者教育の事例紹介
- (3) グループディスカッション
 - (2)に対する感想交流と相互フィードバック（良い点、改善点）
- (4) 個人ワーク
 - (2)、(3)を踏まえて、自大学図書館の利用者教育の問題と課題を考える
- (5) 全体共有
- (6) 2回目のまとめと3回目の進め方の確認

3回目：自大学図書館の利用者教育の課題解決に向けて必要な知識を学ぶ

- (1) 2回目の振り返りと3回目の目的説明
- (2) 自大学図書館の利用者教育の課題解決に向けて必要な知識について
 - ※学習理論、インストラクショナルデザインの基礎を想定
- (3) グループディスカッション
 - (2)の講義を踏まえた感想交流
- (4) 個人ワーク
 - (2)、(3)での気づきを自大学図書館の利用者教育にどのように活かしていくか
- (5) グループディスカッション
 - (4)の内容をお互いに共有、感想交流および相互フィードバック
- (7) 全体共有
- (8) 3回目のまとめと4回目の進め方の確認

4回目：自大学図書館の利用者教育の改善案を考える

- (1) 1～3回目の振り返りと4回目の目的説明
- (2) 改善案を考える際のポイントの再確認
- (3) 個人ワーク
 - 研修での学びを踏まえ、自大学図書館の利用者教育を改善するためのアクションプランを具体的に作成する
- (4) グループディスカッション①

	<p>個人ワークの共有と相互フィードバック</p> <p>(5) 個人ワーク グループディスカッションの内容を踏まえて、アクションプランの修正</p> <p>(6) グループディスカッション② アクションプランの修正案の共有</p> <p>(7) 全体共有</p> <p>(8) 4回目のまとめと5回目の進め方の確認</p> <p>5回目：自大学図書館の利用者教育の改善案を考える</p> <p>(1) 4回目の振り返りと5回目の目的説明</p> <p>(2) グループディスカッション 研修を通じて改善した自大学図書館の利用者教育の一部を実践し、グループ内で相互フィードバックを行う。</p> <p>(3) 個人ワーク (2)での気づきを踏まえ、実践した利用者教育の内容を見直す</p> <p>(4) 全体共有 1回目から5回目の研修内容を踏まえた感想交流と今後に向けた決意表明</p> <p>(5) 講師による研修全体のまとめ</p>
実施形態	オンライン形式
研修報告大会	12月13日（金）午後開催（登壇者を研修内で募ります）

3. 受講条件

資格・経験等	大学図書館における利用者教育を過去あるいは現在担当されている方
環境等	Zoom ミーティングを行うインターネット環境があれば参加可能です。

以 上